

第3期教育等の振興に関する施策の大綱の基本理念と基本目標 (案)

人と心と未来を
つなぐ
「高知家」の教育

目指す人間像
(基本理念)

- ◆ 学ぶ意欲にあふれ、心豊かでたくましく夢に向かって羽ばたく人
- ◆ 郷土への愛着と誇りを持ち、高い志を掲げ、日本や高知の未来を切り拓く人
- ◆ 多様な個性や生き方を互いに認め、尊重し、協働し合う人



目指す人間像(基本理念)を実現することで、個人が持続的に幸せを感じ、また、地域や社会もよい状態が続く「ウェルビーイング(Well-being)」の実現にもつながる。

目指す人間像を実現するための基本目標と、それを測るための測定指標

基本目標1

確かな学力の育成と、自己の将来とのつながりを見通した学びの展開

社会に出て自らの夢や志を実現していくための基礎となる知識・技能やこれらを活用して課題を解決するための思考力・判断力・表現力、生涯にわたって学び続ける意欲を育む。

【義務教育段階】：学習の基盤となる資質・能力の確実な育成を図る。

(測定指標)

- 全国学力・学習状況調査(小学6年、中学3年)において、
 - 小学校の学力は全国平均を継続的に1ポイント以上上回る。
 - 中学校の学力は全国平均に引き上げる。
- <小学校>D層の児童の割合は全国の割合を継続的に下回る。
- <中学校>D層の生徒の割合は全国の割合まで引き下げる。

【高等学校段階】：社会の形成に主体的に参画するために必要な資質・能力を育む。

※進路決定の指標は、全日制・定時制・通信制の生徒
その他の指標は、全日制と定時制昼間部の生徒が対象

(測定指標)

- 県調査において、
 - 学力定着把握検査(高校2年)におけるC層以上の生徒の割合を65%以上とする。
 - 高校卒業時に進路を決定して卒業する生徒の割合を97%以上とする。
 - 高校3年で「自分の可能性を広げるために勉強を頑張っている」と回答する生徒の割合を90%以上とする。

基本目標2

健やかな体の育成と、基本的な生活習慣の定着

生涯にわたって、たくましく生き抜いていくための基礎となる、体力や健康的な生活習慣を育む。

(測定指標) 全国体力・運動能力、運動習慣等調査(小学5年、中学2年)において、

- 小・中学校の体力合計点は、継続的に全国平均を上回る。平成30年度の全国平均値まで改善させる。
- 総合評価でDE群の児童生徒の割合を、平成30年度の全国平均値まで改善させる。
- 「中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたい」と思う生徒の割合が継続的に全国平均を上回る。

(測定指標) 全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙調査(小学6年、中学3年)において、

- 規則正しい睡眠や食事などの基本的な生活習慣に関する項目の肯定的割合が全国平均を上回る。
 - ・ 「朝食を毎日食べる」と回答した児童生徒の割合が、全国平均を上回る。
 - ・ 「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」と肯定的に回答した児童生徒の割合が、全国平均を上回る。
 - ・ 「毎日、同じくらいの時刻に起きている」と肯定的に回答した児童生徒の割合が、全国平均を上回る。



©やなせたかし/スタジオ

基本目標 3

豊かな心の育成と、多様性・包摂性を尊重する教育の推進

社会の中で多様な人々と互いに尊重し合い、協働し、社会に参画しながら人としてよりよく生きていくための基礎となる、自尊感情、夢や志、他者への思いやりや規範意識、公共の精神などの豊かな人間性・道徳性・社会性を育む。
また、「不登校」については、決して問題行動ではないことを前提として、「魅力ある学校づくり」「早期発見・早期支援」「多様な教育機会の確保」による支援を行う。

(測定指標) 【義務教育段階】

児童生徒質問紙調査（小学6年、中学3年）において、

- 道徳性等に関する項目の肯定的割合を向上させる。
「自分には、よいところがあると思う」
「将来の夢や目標を持っている」
「人が困っているときは、進んで助けている」
「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」

(測定指標) 【高等学校段階】

※指標は、全日制・多部制昼間部の生徒が対象

県調査（高校3年）において、

- 道徳性等に関する項目の肯定的割合を向上させる。
「自分という存在を大切に思える」
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」
「高校入学以降、地域や社会をよくするために、地域貢献活動やボランティア活動などを行ったことがある」

(測定指標) 児童生徒問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（国公私立）において、

- 生徒指導上の諸課題（いじめ、暴力行為）の状況を改善させる。
 - ・いじめの解消率を全国平均以上にする。〔参考値：いじめの認知件数〕
 - ・暴力行為の発生件数を全国平均まで引き下げる。

(測定指標) 児童生徒問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（国公私立）において、

- 不登校について、
 - ・1,000人あたりの新規不登校児童生徒数を全国平均以下とする（小・中・高）。〔参考値：不登校児童生徒数〕
 - ・不登校児童生徒のうち、学校内外の専門機関等で相談・指導等を受けている割合を向上させる（小・中・高）。

「目指す人間像」を 実現するための基本目標

健やかな体の育成
基本的な生活習慣
の定着



確かな学力の育成
自己の将来とのつながりを見通した学びの展開



豊かな心の育成
多様性・包摂性を
尊重する教育の推進